

# あごら

**MINI** <66号>  
1982年10月10日発行 ¥100 千40

- 何でも言える●何でも書けるミニ雑誌<あごらミニ>
- 小さな<ひろば>=AGORA・<あごら>
- あなたの声を持っています。みんなでつくる<あごら>

ナナカマドの実が、日に日に赤みを増してきています。ほうずき色を通りこして、首飾りにしたいような愛らしい真紅に染まるのももうじき。旭川の朝夕は、もうすっかり秋のたたずまいです。お元気でしたか？

きょうは、今年の夏に聞いた講演のことを中心に書くことにしますね。

「『原爆の図』は私の遺言です」と題する丸木俊さんのおはなしが、私には本当の遺言のように感じられてなりませんでした。無理のできないおからだなのに、それを押し立てて下さって、言い残さねばならぬこと、大切なことを、思い出し思い出し話して下さいました。

話し終えてから、二百年前の百姓一揆の時の桐で作られた笛を吹く段になって、「ちよつと（からだ）弱くなってるから、私が吹けなかつたら石川さんに吹いてもらわね」とおっしゃりながらご自分の胸をさするような仕草をなさった時、聴衆の中には笑い声がおきたのですが、私は、そのいじらしさゆえに笑えませんでした。「どうか音が出ますように。きつと出るはずよ。私でさえ、こんなに念じているんだもの」って、祈るような気持ちで待ちました。……………ポオー、笛の音は力強く、そして意外と長く響きわたりました。私の目からもドォッと涙が

## 「感動」の順送り

田代慶子

あふれ出て……。その講演の記録をね、録音テープ以上に詳しく再生してくれた人がいるんです。私の友達の友達が、おそらく夏休みいっぱいにかつたんじゃないかと思うんだけど、その場に居合わせなかった人にもよくわかるように講演の時そのままの語り口で、しかも俊さんの身ぶりとか本多勝一さんの本からの写真や地図の写しもそえて、ていねいにまとめてくれているの。それをきれいな手書きで印刷したものが一昨日、友達を通して私の手許に届けられました。それを読むとね、テープおこしをしてくれた人の心までが伝わってくるような気がして、あのときの感動がさらにふくらむのを覚えます。ただの片付け仕事ではなく、義務感からの出発でもないだけに、感動がぬくもりを持って伝わってくるんですね。

ではまた。季節の変わりめゆえ、くれぐれもご自愛下さい。

二伸

語りかけるように淡々と話されるその中に、真に平和をねがう人の気迫を感じました。後で、人から「笛を吹くことは命を短くする行為」と聞きました。ポオーという笛の音の余韻を感じて。 一九八二・夏

記録の後書きに記されていた文章です。

### 今月のなかみ

<編集担当・旭川>

座談会	報告	お知らせ	情報	呼びかけ
ナナカマドの下で思うこと……………1	小坂啓子・木久真智栄・田代慶子・那須友子・林委子	佐世保『あごら』を読む会／湘南『あごら』を読む会／自立を考える学習会／老いを考える学習会……………6	チャンス！『あごら』が半額で買える／ほか……………7	女のつどい・女の講座……………8
				いま手をこまねいていてよいのか……………6

あごら可能性教室新講座

### \*自立のための心理学

講師 しま・よつこさん

(フェミニスト心理学者)

開講 10月12日(火)

毎月1回・第2火曜

午後6時30分～8時30分

場所 あごら読書室(地下鉄・丸の内線「新宿御苑前」四谷方面口下車スグ)

費用 1期6回分で3000円

非会員は 6000円

先着25名がぎり

電話 354-9014

「自立」って何でしょう。

あなたはどんな「自立」を望んでいるのでしょうか。

労働・家庭・社会のいろいろな仕組みの中の「自立」を考えながら、「自分がたのしく生きられる方法」を考えていくクラスです。一緒に話し合いませんか……。

●座談会

ナナカマドの下で思うこと

# とにかく 仕事を始めた 3人

出席者 啓子 智栄子 友子 委子  
小坂 久真 慶子 友子 委子  
木田 代須 林

田代 初めに、那須さんが公文の仕事をした動機から話してくれない？

那須 健康もある程度回復してきたし、それに何もしないで家にいるのは私の場合、精神的にもダメな感じだったのでね。ただ、始めたいけれど、めったやたらに忙しくてあつという間に一日が過ぎてる感じ。いろいろな面でしわよせ来てるかなと思うこともあるけれど、とにかく始めてよかったような気がする。

林 お家でできる仕事なの？

那須 ええ、大体。週に2回、4時間ずつ集会場を借りて教えるのと、月に約3回講習を受けに行くほかは、採点とか準備とか自宅で。林 お家にいると家事と離れないからね。

木久 「いろいろな面でしわよせ」って、さしつかえなかったら具体的に聞かせて。

那須 不器用で家事も得意じゃないのに慣れない仕事を始めちゃったでしょ。仕事に気をとられていて子どもの病気に気付くのが遅れて、治るのに時間がかかったの。でも今は回復したし、できる限りは頑張ってる。思ってる。仕事を始めてみて気がついたんだけれど、私の生き方に強い影響を及ぼしたのは、(あ)こで出会った人たちのね。(あ)こらの中で教育された育てられた気がする。田代 初めて会ったころの那須さんは病気に縛られてたものね。それが今は、野菜ジュースで乗り切っちゃおうという感じになった。林 健康が何よりなんだよね。だけど、それをいらずに使わなくちゃね。

木久 敢えて公文を選んだのはなぜ？

那須 子ども相手の仕事に魅力があったからだと思う。子どもから得ることって多かったから。

小坂 私は自分の時間がたっぷりほしかったから、あんまり仕事はしたくないんだけど、定期的なおこづかいくらいほしいなというこで、去年の12月から学研の配達を始めたんです。ひと月に月末の数日間の、それも何時間かずつなので収入は2万円ちょっと。

すこく気が楽な仕事なんです。今、子どもの数が減ってきているものですから、学研のほうでも問題集とかを一人の子どもの多くに買わせようという傾向があるんですよ。私は教科書に沿った問題集って、もともと好きじゃなくて、ほとんど売ったことないんです。そして、今度は学研の別の系列会社から「ホームステディ(問題集)」やらないかっていう話がありましてね、これはものすごく高価。それだけリベートもいんですよ。そんな高いのを年間契約で子どもにも買わせて、やらなかったら可哀想だしね、あまり気のりがなくて、やっぱり時間があつたほうがいいわっていうんで、ほとんど「学習と科学」の配達一本でやっています。

田代 私は、この九月からヤクルトのおばさんを始めたの。近所の奥さんが急にやめることになって、あさってから代わってもらえないだろうかって。でね、「パートの手引」にも目を通していたはずなのに、肝腎なことろくに聞かずに引き受けちゃったの。馬鹿ねえ。小坂 保険おるんですよ、あの会社。

田代 勤め始めてから聞いてみたのね。そして「六か月過ぎたら安心して病気にいかってください」ですって。つまり、六か月経過するまではダメなんだって。

木久 給料はどのくらいもらえるの？

田代 今の季節だと一日平均二時間労働で、時給にして400円くらいかな。冬になると

自転車がかかなくなるから、ボブスレーに積んで歩いて届けてたら3時間以上かかるので時給は下がると思う。でもね、長くやっていて家建てた人もいるっていうから……。

全へえ、本当？

林 給料はだんだん上がるの？

小坂 量をたくさん持てれば、ですよ。

林 広めるのは他の人がやってくれるの？

田代 グループで応援してくれることもあるらしいけど、主に自分で。それと、講習を3回受けてレポートを提出すると1本につき50銭昇給するんだって。

那須 田代さん、産休先生やりたいんですよ。いつまで続けるつもりなの？

田代 それがねえ、今の仕事、やり始めたら自分に向いてないこともないって気がしてきたの。経験のためにも、1年間は続けてもいいと思いついてる。会社では、「この仕事は顔でつながる仕事だから少なくとも2年間は続けてほしい」って。

木久 学校の先生がすんなりヤクルトのおばさんに変身しちゃうところが面白いね(笑)。

田代 まだ1か月足らずなんだけど、今までとは違った世界が見えてきたように思うのね。時には私よりもはるかに年上のおじさんから「おばさん」って呼びとめられたり(笑)、こつちも、すれちがう人ごとに「お早うございます」って抵抗なく声が出るようになって。

PTAって何？

林 私は相も変わらず忙しい忙しんで駆け回り回っている感じ。今年、90周年の記念行事があつたりしたものだからなおさらね。記念誌担当になって、古い歴史をひもとかなきゃならないでしょ。夏休みも出勤して、やっと

出来たって感じ。お母さん方も応援して下さるけども、都合のいい時に出てきて下さるから、つながらない(笑)。だから大変な仕事だったよ。2年分ぐらい働いた気がする。

木久 その種の雑務をPTAが肩代わりさせられてる側面もあるんだよね。

小坂 先日、上川管内のPTAの大会があったので行ってきたんですよ。PTAというのは、先生と親との親睦会みたいなものだと思うってんですけど、「子どもの教育についての社会教育団体だ」って、「どうして今までそういう問題が出なかったんですか」って質問したら、「先生のほうも出さないようにしていたし、親のほうも諦めてたけど、もうこれからはそういうPTAではおさまりがつかない。これからPTAは変わっていくと思いますよ」って。早く変わってほしいなと思うんですけどね。

田代 その答弁は、どういう立場の方なの？

小坂 ある小学校の校長先生なんです。

木久 学級懇談の時に、教育問題を積極的に出して下さる先生がいてね、八月の懇談の時にも、夏休み中に或る研究会に参加された時の様子を話してくださったの。教科書のこと、問題になっている時期だったから、そこに集まった人たちは「図書館に良心的な本を置く方向で頑張ろう」って話し合ってたんだって。ところがある地方では、既に「窓ぎわのトットちゃん」でさえ買ってもらえない(先生方の出した購入希望図書を教育委員会が認めない)ところがあるとかで…。

田代 その地方で、親たちが良心的な本を学校に寄贈する動きはないのかしら。旭川では、六月の反核映画の収益で「にんげんを返せ」と「子言」のフィルムを図書館に寄贈して無

料で貸し出されることになり、私の住んでる地域でも八月に上映するの。その時に寄せられたカンパで、今度は「原爆の図」の本を三つの学校に贈ることに決めたの。

木久 私は「親たちが働きかけることも必要だ」って最近思うのね。今までは変に気を使っただけで、教育に関する問題はなかなか言い出せずにいたんだけど、「子どものしあわせを願って行動するのがPTAのはずだ」って割り切って、近頃は懇談の時にもあれこれ言ってる。

小坂 このところ、先生方も反戦について熱心になったんじゃないかなって思うんですよ。うちの子ども(小2)「かわいそうなぞう」で戦争の話を生から聞きこんできてね、赤ん坊がナイフで殺された話なんかを子どももするんですよ、教科書問題以来、先生方が戦争の話をよくさんしてくるんですよ。

那須 一時的なものでなければいいけど。

林 戦争と直接かわからない人たちがだんだん先生になっていくからね。日本の加害者としての部分もきちつと教えていかなきゃ。

木久 林先生は、(母と女教師の会とか婦人部でも、責任ある立場におられるんですよ。林 今、旭川市全域にわたっている女の先生方の声を汲み上げたり、こちらの声を伝えたりするのに大変時間がかかるの。朝日生命ビルの7階にポストがあって、手紙を入れれば(切手を貼らなくても)持っててくれるの。ところがだんだん不景気になってきたせいか、配達車が毎日じゃなくなっちゃったわけ。週2回にしたら、土曜日はとりやめになったり。

田代 先生は今年は、身体は大丈夫？

那須 先生は今年も、身体は大丈夫？

田代 先生は今年も、身体は大丈夫？

那須 先生は今年も、身体は大丈夫？

田代 先生は今年も、身体は大丈夫？

那須 先生は今年も、身体は大丈夫？

田代 先生は今年も、身体は大丈夫？

那須 先生は今年も、身体は大丈夫？

田代 先生は今年も、身体は大丈夫？

那須 先生は今年も、身体は大丈夫？

田代 先生は今年も、身体は大丈夫？

那須 先生は今年も、身体は大丈夫？

田代 先生は今年も、身体は大丈夫？

林 去年は昇天してしまいかと思っちゃったけど、今年は忙しいわりに持ちこたえてる。

那須 具合が悪い時は学校を休まれたの？

林 休むっていうことなかったね。動けたら出てしまふもの。

木久 最近、これからって人たちが、それも先生方が相次いで亡くなられたのよね。

林 そうだね。この間も36歳の男の先生が脳内出血で亡くなられたんだって。ふだん元気な人だったんだと。でも、亡くなられてから奥さんに聞いたからね、「仕事、やっぱり忙しかったんだ」って。

田代 無理をしすぎる人は難病にもかかりやすいんだってね。水俣写真展と一緒にやってた30代前半の男の人が、去年、突然意識不明になって、意識が回復したら半身不随で言語障害になってたんだって。それでも半年足らずで、ゆっくりなら歩いたりしゃべったりできるようになって、借りてた「あごら」返しに行くって電話があった、歩行訓練を兼ねて歩いて来たって言いながら、倍くらいの時間かけて汗だくでたどり着いたの。もう少ししたら職場復帰して軽作業に回してもらって言うってけど、人一倍頑張る人だったんで、何か月かして再発して再入院しちゃった。

放射能は日常の中にも

林 昨日、講演で聞いたけど、放射能がこわいんだってね。脊髄で血を作るでしょ。骨をやられると白血病になるんだって。

那須 レントゲンやなんかでかかる放射能？

林 いや、原子炉から出る放射能。レントゲンだって、蓄積されたらなるんでないの？

小林 レントゲンの放射能も、身体が心配な人はともかく、健康な人はしょう中受けるも

んでないって。レントゲン技師は放射能を遮断するようにしてるけれど、助手の方が技師ほど気を付けてなくて、案外、被曝率が多いんだそうです。

林 放射能というのは、いっぺんには癌にさせないんだね。20年、30年って潜伏期間が長いんですよ。この間、西先生も亡くなられたけど、戦後まもなくのころ、広島におられたでしょ。だから残留放射能が何かを蓄えていたんでないの。昨日の話を聞いてそう思ったよ。

田代 私が「あごら」と出会ってまもなくのころ、西教授に「女と教育」を差し上げたのね。そしたら、「資料として有効に使わせてもらいます」ってすごく喜んで下さって。3月8日(婦人デー)の講演では、その本からの引用を豊富になさってた。山内恵子さんと初めて会ったのがその講演を聞きに行った時で、その年に「あごら旭川」が発足したの。だから西先生は「あごら旭川」と因縁が深い方だと思うの。まだ50代に入ってたばかりで、やり残されたこともたくさんあったでしょ…。

那須 アメリカの原爆実験のあった場所映画撮影をしていたスタッフが、後で癌で亡くなったってね。

小坂 アメリカの兵士で、手が象みたいにふくらんでた人が来日してたけど、あれからどうなったんでしょうね。日本だと原爆に詳しいからなんとか治療してもらえらんじやないかと思ってる。

田代 この間の反核映画でも、核実験の直後にアメリカ兵がそこへモルモットみたいに行かされる場面が映ってた。

那須 十何年前の実験の時も、離れた所で放射能を浴びた人が、骨まで透けて見えた…。

木下 丸木俊さんが「母と女教師の集い」全道大会の講演の中で話してらした。「原爆は形を変えて日常に入りこんでる」って。

林 電気料にしても、設備費とか加算されて知らない間に払わされてるんだってね。廃棄物を処理するお金も加算されてくるって。だから消費者がそこをしっかりとふまえて、反対しなくちゃ。

小坂 みんな、電気は何アンペアで使ってます？ うちは15アンペアで頑張ってるんです。アンペアを下ければ原発を作らなくても済むんじゃないかって。電子レンジと電気釜をいっぺんに使っても15アンペアで間に合うんですよ。大体、1500ワットで15アンペアって覚えておけばいい。

全 知らなかった。帰ってから、うちのアンペア調べてみよう。

### 一度やると、やめられないものは？

小坂 倉橋由美子さんが書いてたんですけどね、主婦業ってのはいいもんだ。自分の時間がたつぷりあるでしょ。男は可哀想だっていう見方に私もすごく同感。時間がたつぷりあって亭主に養ってもらってるんだから、少しくらい頭上がなくても……と思っちゃう。

田代 夫にいはられる面につぶれば、確かに主婦業ってらくちんなのよね。ただ、生真面目に考えるなら、私は自由時間の使い心地を知ったばかりに墮落しちゃったかな、と思える時があるよ。

小坂 「時間は現代の財産だ」ってサガンも書いてるんですよ。私なんか時間いっぱいあるから、財産持ちってとこですね（笑）。

林 このごろ、読みたいなんて思って本買うんですよ。ところがくたくたに疲れたら何行か読

むうちにイネムリが出てしまうものね。時間ができてもからだがいこうときかなくて自分のために使えない。

小坂 だからね、夫も女房も労働時間を平等にふりわって一日4時間労働とかにしたなら、みんなに時間があるようになっていいなと思うんですけどね（一同うなずく）。ちよつと可哀想な気するんですよ。夫ばかり働かせて、自分ばかり好きなことしてね。

那須 その見返りとして、夫が死ぬと女は困るんじゃない？

小坂 でもね、日本の法律では、夫が死ぬと寡婦年金がおりるでしょ。女房が死んでも何もおりませんよ。寡婦年金があれば、あとはパート程度で暮らしていけるでしょ。何年かは食いつないでいける。生活保護も、4人家族で1か月に10万円以上もらえるんですよ。

林 だから今、父子家庭のほうに困ってる。家事ができないし、家事をしてたら仕事に行けない……。

木久 女の値打ちが低く見積もられているために、男も損をさせられてるんだね。

### 抱擁力豊かなつれあいであれ

林 私はずつつと共働きを続けてきたでしょ。そして振り返ってみたら、相手にもよるのかもしれないけれど、二人とも外で働き通しているのに、自分の趣味や楽しみは男の人のほうが多く持ってるのね。

小坂 男の人はいばって持てますものね。釣りに行くにしても仕事に行くみたいに。

那須 女の人は家事に縛られてるから……。

木久 たとえば（あごろ）の集まりがある時に、留守番が子どもだけだとリラックスして出て来れるんだけど、夫がいると出にくい。

林 家のことはちゃんとやってから、と言う人なの？

木久 そう。そして要求に際限がないの。まるでアラ探しが趣味みたい。妻を家に置いてきたい人なのね。言いなりになってたら一生飼いか殺しにされると思つたから、おぎえつられても横つちからはみ出してあれこれやり始めたんだけど。

田代 自分の知らない世界に女房を出すのは不安でしようがないということかな。

林 自分の保護の下に置きたいというのか、思いやりの気持ちなんだろうけどね。

木久 過保護はありがた迷惑なのに（笑）。

小坂 うちの人、このごろはあんまりこまかいこと言わないんです。今日もこはんの仕度しないでスポツとでかけて来た。

林 女の方もそういうふうに変わらなきゃダメなんだよね。

田代 それはいつごろから？

小坂 車の運転免許を取って、子どもが幼稚園に入ってからみたい。

木久 すったもんだやらなくても出れるようになったの？

小坂 ええ、自分が時間に縛られてる人間だと、女房くらい少し泳がせてやってもいいと思つたかもしれないですね。

木久 いいなあ。抱擁力があつて。

### 通夜の席で皇室のモーシヤルが

田代 PTAや町内会が利用されやすい団体だということは去年あたりから特に感じていたんだけど、お寺も同類なのね。この間、知人の通夜に参列したらお寺の住職が「天皇に恩を」って説教してたのでびっくりしちゃった。終戦直後、日本にやって来たマッ

カーサーの許に、天皇が自ら出向いて「自分はもうなつてもかまわないが国民の命は助けて下さい」って言われた。で、それまでは天皇を良く思つてなかったマッカーサーのほうから握手を求めて来た。あなた方が今、ここにこうして生きていられるのは天皇陛下のおかげ。恩を感じてはいけませんって。

小坂 でもそれは一面的ですよ。マッカーサーが日本人の天皇信仰を知ってから、握手してもいいと思つたかもしれないしね。

木久 人の死まで利用されちゃうまで、やりきれないわね。

田代 PTAや町内会が利用されやすい団体だつてことは去年あたりから感じていたんだけど、お寺や神社に集まる人たちも利用されやすいんだね。

小坂 この間、ドラマで見たのね。アメリカ側は天皇制の廃止を要求して、軍隊は少し残してもいいと。そういう希望だったんですけど、それを日本のほうで、天皇制を廃止してしまえば永久に天皇は日本になくなる、けど軍隊ならいつでも作ることが出来るからっていうんで、天皇制を残して軍隊を切り捨てるようにアメリカに申し込んだっていうんですね。ドラマだから、どこまで本当かはわからないんですけど……。

田代 真実味が感じられるね。

那須 天皇制を切ると日本を統制できなくなると気づいて残すことになったんですよ。

木久 最近、神社とかお寺を中心に、それにかかわるを得ないような組織づくりが巧妙に進められているらしいのね。

田代 丸木さんの講演で「南京大虐殺もあれだけひどいことになったのは皇室の存在が大きい」って話されてたよね。

## 末の百より今五十

木久 夫が言うには、私が今反対とか言わなくても、行きつく所まで行きついたら多くの人が立ち上がるだろうって。でもそうだった時は手遅れなんじゃないかって思うの。最新号の「あごら」本誌にあった言葉で「末の百より今五十」というのが心に焼きついて離れない。

林 そうだね。第二次世界大戦みたいにみんなでワーツと突き進んで行つてさ、ハツと気がついたその時はお互いにメタメタになってた。田代 「ミニ」65号で梅津さんという方がおっしゃったのによると、「治安維持法も初めは決してそんな恐ろしいものではなかったのが侵略戦争が進むにつれて、ものすごくひどい拷問を受けるようになった」って。だからおかしくなる前に、いち早く気づいた人が声を出していかなければね。

木久 教科書問題に関して、中国や韓国が反対してくれたおかげで、文部省への反論が連日、殺到したでしょう。入れかわりたちかわり。初めての人もたくさん、読者の声に投稿してくれたよね。私はホツとして、書きかけたのを出さなかったんだけど。(笑)

田代 ほとんどの日本人は、教科書問題があるという形で進展していくとは思ってないなかつたんじゃないかしら。考えてみれば、言語に絶する被害を受けた国々が強硬に異論を唱えるのはアタリマエのことなんだけれど、国民の心ある人たちは、決定的な手だてが見つからなくて半ば諦めかけていたと思うのね。木久 その「声なき声」が被害国の叫びをきつかけて一気によき出してきた。

林 あればね、誰かがしてくれるからって黙

っていたんじゃないコトが成り立たないよね。

小坂 70代の人で、「他の国でも侵略を進出と書いている」と読者の声に書いてた人がいましたよ。年代の差が出てきますよね。

林 ある年配になった人はもう「その立場になつたらしょうがない」みたいな見方をするんじゃないかしら。

田代 年代だけでなく個人差もあると思う。那須 教科書問題を、私なんか「こりやまずい」と心で思っている、どういうふう

に具体的にやつたらいいかわからないのね。木久 選挙法にしても、国民が教科書問題に

気をとられている間におかしなことになるってやつたしね。林 みんなで直接ハガキ出したっていいよね、文部大臣や国会に。

## これ以後、人のために働くんでねえ

那須 丸木さんの講演の最後のところが心に残ったんだけど、処刑されようとする人が、その直前に「これ以後、人のために働くんでねえ」って言い残したという部分がね、わかるようでわからないというか、いろんなふう

に考えられて測りかねるんだけど、みんなはこころで考えるかなと思つて。

小坂 大学で学生ストライキが起こった時にね、私はどうしても学生側の言い分が納得いかなかったの、本部の運動家と話をしたことがあるんです。「それじゃあこの運動は学生のために起こしたんじゃないんでしょ。あなた方のために起こしたんでしょ」って聞いたらね、「そうだ」って答えたの。私たちは人のために何かをしようじゃなく、これをしなかつたら自分は生きていけないみたいなそういうものがなかったら、してはいけないと

いうことじゃないかと思ふんです。

田代 私、思ふんだけど、あの話を聞いた人たちが地元へ帰つてまだ考えてくれてるかなア。講演を聞いた後、聞きっぱなしというのは惜しい気がするもの。

木久 同感。沢地さんの講演の時も、帰る道々、会場を出た人たちが「今日の講演は良かったねえ」ってしゃべっているのが聞こえたんだけど、「いい話だったねえだけじゃ、い

い話が広がらないし、世の中変わらな

小坂 沢地さんの話の中では「家族一人一人の暦をつけましよう」って言われたのが、す

ごく残つてゐるのね。私なんか、母親のこと振り返つてみると小さい頃のこと何も知らないし、自分の母親としてしか見ていない。そ

ういうのを一人の人間としてとらえ直してゐること、そしてそれを子どもに伝えるってこと、大事なんだなあと思ひましたね。

木久 新聞で読んだんだけど、「中国が教科書を問題にしたのは日本側から教えた者がいるからだ(日本には)国を売る、国民を裏切るような人がいる」って箕輪郵政相が言い出して、その翌日に今度は竹村健一氏が「この話の起りは社会党の女代議士の土井とかいうのが中国大使館にタレ込んだのが始まりだ」って、土井とか子氏を国賊呼ばわりしたんだ

って。事実無根だったらしくて、箕輪氏は「もし土井氏や社会党に迷惑をかけたとすれば遺憾である」竹村氏は「土井さんに疑いをかけた点は」申訳ないと言っておきましょ

うって謝つたんだって。

田代 教科書検定制度のことはテレビでもや

つてたから、あれを見たかもしれないのに。小坂 人類みな兄弟の時代に、政治のトップ

## やつぱり教育って大事

小坂 それにしても、保守系はあんなに言いたい放題言つて、保守系でも野党でも何でもない人がちよつと批判めいたことを言つたら、もつ目の色変わるんだからね。おかしいね。田代 これからもいろいろあるだろうけど、どっちが大事かと選択を迫られた時に、なるべく選択を間違わないでいきたいと思ふよ。

林 若い世代はどうなんだろうね。おとなたちを見て、批判的に物事を考えて、変えていこうとする……よね。

小坂 先生、頑張つて教育して、そういう人間を育てて下さい。(笑)

那須 やつぱり教育って大事だと思ふよ。林 ものの考え方、見方みたいなものをしっかりとさせておけばね。

那須 以前、家庭教師をしていた時に子供たちに言ったことがあるの。「自分の目で見て確かめて、自分の納得したものしか信用しないほうがいい。新聞とか印刷されているものだけで判断するべきではない。正しい判断力を身に付けるために、あなた方は今、算数や国語や社会科をやつてゐるんだ」って。

編集後記に代えて

この6月、あごら旭川」の山内恵子さんが北教組の婦人部長に選出されました。就任と同時に、席の暖まるひまもないまま、北海道母と女教師のつどいの準備に奔走され、東京に網走にと忙しい日々を過ごされています。

おつれあいを旭川に残しての単身赴任ゆえ気苦労もさぞ多いことでしょう。どうか身体をこわすことなく、重責を全うされますよう。札幌や旭川での「あごら」例会に、山内さんがゆとりを捻出して出て来られる日もそう遠くはないことと心待ちにしています。(田)



# いま 私たちは手をこまねいていてよいのか

いよいよ三沢基地にはF-4E 16が配備され、外ばりはおろか、内ばりまでおむね埋めつくされました。来年の選挙で、戦争推進勢力が勝てば、ほとんどまちがいなく、戦争に組み入れられることになるでしょう。

この危機的状況に対し、あまりにも平和な日本の風景——この前の大戦も、まだまだ大丈夫……と思っているうちに始まったことを考えずにはいられません。

『あごら』は小さな雑誌ですが、いま声をあげなくては悔いを千載に残す、という思いでいっぱいです。

27号テーマは「ミニコミ」を一応予定していましたが、急転、テーマの中心を変え、戦争阻止に全力を注ぎます。あなたの声、あなたの力で思いあふれる号をつくりましょう。

## 原稿募集

●「いま私は言いたい」戦争阻止のために、いまこそ言わずにはいられないことを送ってください。400字10枚以内。

●「ミニコミ発行者に対するインタビュ」ミニコミを作らずにはいられない発行者にインタビュ。なぜ出したのか、出し続けているのか、創刊時といまの違い。●一番困っていること・うれしいこと。●つくり手と読み手、などを伺います。判型・ページ数・印刷方法・発行部数・発行費用・発行資金等は、かこみで入れる予定。原稿等はかこみも含めて、400字6枚。ミニコミの現物と、つくり手の写真も入れます。

●「書評」読んで感激した本、すすめた本。

300〜800字にまとめてください。(出版社、判型、ページ数明記のこと)

◆締切は10月31日厳守

12月の各種反戦集会に役立つよう、11月末発行を目指します。

## ◆謝礼

掲載原稿は1枚千円、インタビュは1点6千円、ただし、現金でなく、『あごら』図書券です。

## ◆編集部員募集

この号の編集に熱意のある方はできるかぎりかわってください。10月中は毎週1回程度、編集会議をもちます。11月1日から実務(原稿整理、レイアウトなど)にかかります。11月1日〜5日、集中作業。中旬から校正が出ます。テープおこし、校正、レイアウトなど、部分作業を受けもつ方も歓迎します。謝礼は、編集会議への参加は5回につき本誌1冊、レイアウトは1ページ100円、校正150円、テープおこし1時間3600円、リライ1枚240円、書評1点500円(いずれも採用分)すべて『あごら』図書券で。

◆地方の方も、ぜひご参加を  
原稿を書くこと、インタビュなどは、地方でこそ……の部分も大きいと思います。また、講演や集会のテープおこしは、地方在住の方でもできます。意志のある方はご連絡を。

ふたたび「女の自立」をめくつて  
しま・よつこさんの学習会

5月の「自立の心理学」がたいへん好評で

したので、7月に渡米されたしまさんのその後のお考えもつかうかと、9月28日、四谷公会堂で公開学習会を開きました。

アメリカの女性運動が、「自立」から「相互支持」——「インディペンデント」から「インターディペンデント」に移っているというお話は、たいへん印象深いものでしたが、まだ「インディペンデント」すら未熟な日本の女性に直輸入できるものか……など、その後の討論ではいろいろな発言が続き、「自立」についての基本認識も各人各様であることが浮かび上がりました。

学び続けても果てしない「自立」の問題。10月12日から、毎月第2火曜、午後6時半〜8時半、(あごら)可能性教室で、「自立」を考えることにします。講師はしまさん。内容は「働くことと自立」「教育と自立」「姓を変えらるゝこと」「ユーモアと自立」など、フェミニズム心理学に立つて、具体的、日常的な問題をふまえて、新しい切り口で、「自立」を問い直し、どうすればのびやかに楽しく生きられるかを模索する予定です。受講料は1期(来年3月まで)3千円、先着25名かぎり。

「気張らないこと」がモットーの、とてもたのしい講座です。ご参加をお待ちしています。第1回は「目立つてなかに」——各人各様の「自立観」を語り合います。

伊藤ルイさんを迎えて

感動的な佐世保(あごら)を読む会  
伊藤野枝の遺児、伊藤ルイさんを迎えて、

8月27日、佐世保市で初の公開学習会を開きました。

テーマは「主体的に生き、モノを言った女伊藤野枝」。はじめ、『あごら』26号に収録されている井手文字さんのお話のテープを聞いたあと、伊藤ルイ(旧名ルイズ)さんのお話「長い間、どうしても野枝は遠い遠い存在としてしか心になかったけれど、野枝と大杉が惨殺された死因鑑定書を見たとき、はじめて野枝を身近な肉身として対峙することができた。そしてそれからの生き方に決定的なものを与えた」に、60人あまりの聴衆は深い感動を受けました。

この日は、ちょうど台風が九州に上陸するという日。汽車がとまればタクシーを飛ばしても……と、ルイさんの護衛(?)を買って出た(あごら九州)のメンバーは、水筒にお茶をつめて出かけましたが、心意気に感動したのか、台風もそれ、すばらしい盛会でした。思いついてから3年半の準備を重ねて呼びかけたという内田さん。こまやかな心づかりは、集まった人びとの胸を打ちました。1年間の読書会を重ねて来年は(あごら佐世保)としてスタートしたいとのこと。佐世保近辺のお知合いに、あなたもぜひ呼びかけてください。連絡先は佐世保市瀬戸越町1415(ルイ)内田佳崇さん。0956-49118591

江東区・江戸川周辺の方  
集まりませんか

第1回目は26号合評会の予定です。次からは女性が働くことなどについて、みんなが話しあったり読書会をしたらと思っています。  
日時 10月24日(日)午後1時〜3時

場所 江東区総合区民センター6階  
(都営新宿線 西大島)下車、駅の上)  
連絡先 03-6640-4462 嶋田

## 26号 新宿での合評会は 10月23日(土)

午後2時から5時くらいまで話し合います。場所は「あごら読書室」(地下鉄丸の内線「新宿御苑前」下車30秒。354-9014)考えたこと、感じたこと、何でも……。

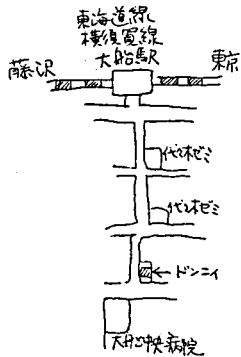
## 「湘南「あごら」を読む会」スタート

「あごら神奈川」が休眠状態。湘南地区だけでも集まれる人で集まろうと、佐藤のり子さんが呼びかけ、9月25日(土)午後6時から、平塚公民館に集まりました。

小雨降る中、ドキドキしながら集まったのは4人。電車やバスで、横浜、伊勢原からもやってきました。

事務局の斉藤千代さんまじえ、「あごら」26号の感想というよりも、自分の身近にあるいろんなおかしなこと、自分の気持ちなどを語りあって時間がすぎました。つながれる人は近くにいるという思いです。

第2回目は10月24日午後2時から大船「ドーン」(会員向後裕子さんのお店)にて。お茶とケーキはミスター向後がプレゼントして



くださるそうです。あなたもぜひどうぞ。(小さな店なので、できれば事前にでんわしてください)。国鉄大船駅から徒歩10分、連絡先「ドーン」0467-464986 向後さん自宅夜045-833-3680

## 老いを考える

### 性のリハビリテーション 「あごら京王」学習会

21世紀には高齢人口が半を占める……。高齢化社会に向けて、「あごら京王」では、5年前から、学習会、老人ホーム、社会福祉施設見学などを重ねてきたが、9月18日(土)午後渋谷の勤労福祉会館に大工原秀子氏を招いて学習会を開きました。

『老人の性』の著者、大工原さんは、保健婦の立場から調査研究を重ね、精神的、肉体的、社会的な視点から考察した「老い」をわかりやすく説明。

「女性の性器は生涯役立つが、男性は80歳くらいまでで個人差が大きい。しかし性器にふれることだけが性愛ではない。精神的に豊かで互いに相手をいたわることによっていとおしさが増す。老いるほど、若いころからの人となりが増える。性格が明るく人づきあいのよい人は愛の表現もこまやかで、セックスのいとなみも豊か。相手を満足させる。性のリハビリテーションとは、セックスそのものの機能回復だけではない。ボケ老人でも異性と手をつないでダンスなどをするとボケも治る。配偶者や家族の心ない一言がボケを進ませたり、精神障害を起こさせることも多い」と具体的例をあげての説明に、うなずく人も多かったようです。朝日の催し欄に出たため、熟年の男性も5-6名参加、笑い声

の絶えない3時間でした。老いに備えて、性の面でも考えなければならぬことが多いことを感じました。

## 秋の運営会議は 11月20日(土)〜21日(日)日

### 京都で一泊合宿

8月1日の公開運営会議は、時間切れで多くの議題が積み残しになりました。今回は京都に一泊して、徹底的に討論する予定です。主な議題は

- ◆「あごら」の財政をどうするか
- ◆27号以降の編集テーマと編集方針
- ◆運営委員のあり方と選出方法
- ◆拠点活動をめぐって ほか

本誌テーマについては、8月1日の席上、①ミニコミ、②老い、③男性の性、④平和、⑤性役割・差別の構造、⑥地域社会、⑦家族などが出されました。このほか、あなたのテーマや議題をぜひお知らせください。公開会議への参加もどうぞ。

11月20日(土)13時〜16時30分 公開  
21日(日)9時〜正午

会場は京都府婦人センター 宿泊費3600円(朝食こみ)、宿泊ご希望の方は、10月31日までに事務局にお申し込みください(解約は取消し料をとられます)

## 子供に語り継ぐ会(新潟) 記録集発行

あの戦中、戦後、女たちはどんなふう生きていたのか。子どもたちに何を語り継げばよいのか……。毎週第1第3水曜日、市の公民館で話し合っている会が、第1集を出しました。38度線を越えて命からがら逃げ帰った

記録。防火用水に頭を突っ込み、足だけ焼けただれていた姿など、庶民の目に映った「戦争」がなまなましく話られています。連絡先は新潟市二葉町1-823 塚野恭子さん。

## チャンス!

### 「あごら」が半額で買えます 10周年記念大特売

「あごら」発行資金を生みだすため、在庫一掃セールをします。読書サークル、婦人学級、労働組合などの勉強会に、ぜひ活用ください。

50部以上5割引き、20部以上3割引き。ただし22号(男女平等と母性保障)雇用平等法、保護と平等の問題と、23号(女たちはいま変わる)女性差別撤廃条約と国際婦人年、世界行動計画など)の2種類かきり。83年3月末までです。

## 8・9月分会費・基金の受入状況

8月	81年度会費	3人	1万3000円
	82年度会費	40人	15万0000円
	83年度会費	2人	6万8000円
基	金	10人	6万0000円
9月	81年度会費	2人	9500円
	82年度会費	38人	10万4000円
	83年度会費	18人	7万8000円
基	金	12人	6万9000円

## 【新入会員】8月15日新潟7世田谷・杉並・江東・八王子・川崎・平塚・室戸・大宰府各

1) 9月21名(横浜2札幌・宮城・新座・足立・板橋・北・世田谷・文京・調布・松戸・柏・佐倉・一宮・春日井・岐阜・岡山・広島・福岡・筑紫野各1)

## 〈女のつどい・女の講座〉

日	時	テ	マ	会	場
10月10日(日)	10:00～12:00	あごら九州・例会			福岡市立婦人会館
	18:00	抱擁会公開講座 老子研究			住井すゑ宅
12日(火)	18:00	優生保護法改悪阻止連絡会・全体会			四谷公会堂
	18:30～	あごら可能性教室「女の自立のための心理学」(仮題) 講師 しまようこ			あごら読書室 03-354-3914
	18:30～	雇用平等法をつくる会 運営会(毎週火曜日)			ジョギ
	10:00～12:00	「鉄連の仕事差別裁判」24回公判			東京地裁民事9部2F
13日(水)		「彷徨」読者の会例会—教科書問題を考える—(会費500円)			新島私塾 03-323-4348
	18:30～	あごら札幌 例会「いま戦争を考える」連続講座を終えて」			喫茶のあ 011-511-1377
15日(金)	18:00～	地域運動交流集会「秋の軍縮月間にむけて」			新宿勤労福祉会館(高田馬場下車)
16日(土)	13:30～16:30	家庭科の男女共修をすすめる会「男女平等問題に関する国会レポート」			婦選会館 370-0238
	17:00～	女性の生き方を考える集い「女性と職業」講師 斎藤千代			東京都水元青年の家 600-0245 池田
	18:00～21:00	翌日 午前 パネルディスカッション 午後 グループ討論(参加費1500円)			東京都水元青年の家
		結婚の意味を問う継続討論—こんなはずじゃなかった—			渋谷勤労福祉会館(渋谷北口)
18日(月)	11:00～15:00	あごら大阪・例会			鈴木宅
20日(水)	18:30～	お解連「明日をひらく教室—宮本百合子著を」講師 駒尺喜美			楽友会館
21日(木)	18:30～	行動を起こす会 労働分科会			ショッキ
23日(土)	14:00～17:00	あごら26号合評会			あごら読書室
	18:00～21:00	あごら九州・例会			福岡市立婦人会館
	19:00～20:00	あごら武蔵野・例会			かわら版事務所 0423-94-2902
24日(日)	13:00～17:00	日本女性研究会10月例会「文学の中のフェミニズム」報告 藤枝濤子			大阪府立婦人会館 06-762-2658～9
	14:00～	湘南『あごら』を読む会 第2回例会(045-833-3680 向後)			大船くドンニィ(0467-46-4986)
	14:00～17:00	あごら浦和・例会「婚姻制度について」			浦和コミュニティセンター
26日(火)	18:00～	優生保護法改悪阻止連絡会・全体会			四谷公会堂
	18:30～	連続トークイン「雇用平等法をつくる会」結果平等と機会均等」			八丁堀勤労福祉会館
27日(水)	13:30～16:00	核廃絶と軍縮を実現するために婦人の行動をひろげる会			ひばりヶ丘、多摩ニュータウン
28日(木)	10:00～12:30	あごら東海・例会			名古屋婦人会館
30日(土)	10:00～16:30	日本有職婦人クラブ連合会・30周年記念式典と祝賀パーティ			京王プラザ(03-344-0111)
	13:30～18:00	鉄連の七人と共に性による仕事差別賃金差別と闘う会総会(353-2365)			八丁堀勤労福祉会館
	15:00～18:00	あごら京王・例会「大工原秀子氏の講演の反省」			談話室「たきざわ」新宿東口
11月3日(水)	10:00～15:00	「'82優生保護法改正」反対大集会」'82優生保護法改悪阻止連絡会(357)9565			渋谷「山手教会」
5日(木)	10:00～12:00	かようびの会「女と戦争」講師 斎藤千代			大宮公民館
8日(日)	10:00～12:00	大栄町公開講座「主婦の自立」講師 斎藤千代			大塚小学校 0478-73-2111
9日(火)	10:00～16:00	全国家庭教育研究集会「家庭教育と父親」参加費5000円(含、資料、昼食)			日本女子会館(03-434-7575)
10日(水)	9:30～15:00	同上 シンポジウム			
14日(日)		長崎・女の反戦集会			
20日(土)	2:00～16:30	あごら運営会議			京都府婦人センター
21日(日)	9:00～12:00	〃			

ミニ7月号、9月号は急拠、事務局が担当しましたので、各拠点の担当月は下記のように変更しました。  
10月旭川／11月浦和／12月九州／'83・1月事務局／2月京都／3月仙台／4月柏／5月大阪…(以下未定)

## 各地のあごら連絡先

- あごら旭川
  - 旭川市神楽岡1条5丁目3 田代慶子
  - 011-666-655 6237 7078-11
- あごら札幌
  - 札幌市西区琴似1条6丁目グランドハイイツ琴似408号 細田英理子
  - 011-6644-2927 70663
- あごら仙台
  - 仙台市茂庭字生出前4の65 三船照子
  - 022-2245-5999 42982102
- あごら浦和
  - 浦和市南浦和2-19-8 山中マツ江
  - 0488-8773 3680 7336
- あごら柏
  - 松戸市五香六実720 古賀節子
  - 0473-8778 8367 7270
- あごら北東京
  - 豊島区東池袋1-45-11 メゾン金子202
  - 03-9855-3308 8170
- あごら武蔵野
  - 小平市小川町1-76 3 丹羽雅代
  - 0423-4333 6674 987
- あごら京王
  - 調布市仙川町3-12 32 福井浅子
  - 03-3308-7871 7182
- あごら神奈川
  - 川崎市多摩区東生田2-2 12 森山方沼田千恵子
  - 044-9933-9079 7214
- あごら東海
  - 愛知県愛知郡東郷町和合ヶ丘1-12 9 伊藤汎美
  - 0561-3392 2386 4700 1
- あごら京都
  - 京都市左京区二乗寺染田町56の1 塚崎美和子
  - 075-7911-4623 7606
- あごら大阪
  - 茨木市西駅前町10-3 23 遠藤由美
  - 0726-2333 3495 7567
- あごら九州
  - 福岡市中央区笹井2-4-6 小島豊子
  - 092-5221-7624 7810